

「ダイビング」	単 位 数	3 単 位
	学科・学年・学級	海洋科学科 第3学年 海洋機器類型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	潜水に関する基礎的な知識と技術を習得させ、水産や海洋の各分野に活用する能力と態度を育てる。
使用教科書・副教材等	DIVING MANUAL

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	すばらしい海底の世界 潜水の楽しみ方 潜水の歴史 ダイバーになるための条件 水中の環境 潜水器の種類	4 5	潜水の概要、物理、生理、機器、技術について安全で正しい技術知識を習得し水産海洋分野で活用する能力と態度を学習する。	・危険を伴う実習、訓練もあるので作業に集中し指示に対して機敏に行動できること。また、体調管理には、万全を期すこと。	中間 考 査
	スキンドайビング スキンドайビングの器具 スキンドайビングの生理 呼吸する空気と息こらえ スキンドайビングの実技	6 7			
期	潜水実技 水泳 フリッパー マスククリヤー 耳抜き 浮力調整 器具の後始末	4 5 6 7	水泳能力を高め、海において身体を安全に処する能力を養う。また、長距離を泳ぐことによつて耐久力・持久力を養う。 プールにおいてスキンドайビングの基礎的技術を習得する。		
	【課題・提出物等】 特になし。必要なときは、その都度指示する。				
【第1学期の評価方法】 知識・技術、態度（積極性・規律・出席等）を総合的に評価する。 定期考査の成績、出席状況及び授業態度などで評価する。					
第 2 学 期	スクーバダイビング スクーバダイビングの器具 スクーバ潜水に関係あるガス 潜水の物理 潜水による障害 スクーバダイビングの実技 入退水の方法 緊急時の方法	9 10 11 12	潜水の概要、物理、生理、機器、技術について安全で正しい技術知識を習得し水産海洋分野で活用する能力と態度を学習する。		中間 考 査
	救急蘇生の方法				
学 期	潜水実技 フリッパー	9			

期	ハイパーベンチレーション 水面からの潜り方 エアースティション エントリー スクーバ装備手順 器具の後始末	10	プールにおいてスキンドIVINGの基礎的技術を習得し、さらにスクーバDIVINGの機材の名称と使用法、呼吸法を学習する。		
		11			
	海洋実習	12			実際に海へ行き、授業で学んだ泳力や基本的な知識・技術を海洋にて実践する。
【課題・提出物等】 特になし。必要なときは、その都度指示する。					
【第2学期の評価方法】 知識・技術、態度（積極性・規律・出席等）を総合的に評価する。 定期考査の成績、出席状況及び授業態度などで評価する。					
第3学期	1, 2学期の復習 コンパスナビゲーション	1	潜水の概要、物理、生理、機器、技術について安全で正しい技術知識を習得し水産海洋分野で活用する能力と態度を学習する。	学年末考査	
	【課題・提出物等】 特になし。必要なときは、その都度指示する				
	【第3学期の評価方法】 知識・技術、態度（積極性・規律・出席等）を総合的に評価する。 定期考査の成績、出席状況及び授業態度などで評価する。				
【年間の学習状況の評価方法】 定期考査の成績、出席状況及び授業態度などに加え、実技に関して、知識・技術、態度（積極性・規律・出席等）を総合的に評価する。					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・危険を伴う実習、訓練もあるので作業に集中し指示に対して機敏に行動できること。また、体調管理には、万全を期すこと。 ・講義は実習の事前指導であり補足であるので、実習に入る前に疑問は講義の中で質問しておくこと。 ・ダイバーの第一条件は、健康な身体と健全な精神を持つ事である。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習前日は、最低8時間は睡眠をとる事。 ・教員の指示は良く聞いて、絶対に従う事。 ・体調管理に万全を期すこと。万一、体調不良の場合は事前に申し出る事。 ・危険を伴う実習および訓練の内容があることをしっかり理解する事。 ・水の中に入ったら私語をしない事。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	潜水について関心を持ち、その基礎的な知識・技術の習得に意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に対する参加の仕方や態度 ・実技の内容
思考・判断	潜水について自ら思考を深め、その基礎的な問題解決に向け、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実技の内容
技能・表現	潜水に関する基礎的な技術の習得や調査・研究などの実践活動について、それらを的確に表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実技の内容
知識・理解	潜水に関する基礎的な知識を身につけ、潜水の意義や役割を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実技の内容